

## 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧&lt;リハビリテーション学科作業療法学専攻&gt;

授業科目	単位数	実務経験を活かした当該授業科目への展開
栄養学 (リ)	1	・リハビリに取り組むアスリートに対する栄養教育経験のある管理栄養士である教員が、その実務経験を活かして栄養学についての授業を行う。
障害者福祉論 (リ)	1	・障害福祉サービス事業を展開している複数の社会福祉法人・特定非営利活動法人の研修講師、オブザーバー、コンサルタントの経験があり、その実務経験をいかして障害者福祉の理念や法制度について授業を行う。
整形外科学	1	・実務経験あり：担当者は医療施設において整形外科医として実務経験があり、その経験を活かして本授業を行う。
医療安全・感染症学	1	・実務経験あり：医療機関において内科医師として診療に従事しており、その経験を活かして実践的な医療安全学や感染症学についての授業を行う。
リハビリテーション医学	1	・医療機関におけるリハビリテーションの実務経験を有する教員が、臨床場面での知識の活用や実用的な訓練法を含めて講義する。
画像診断学	1	・実務経験あり：医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして画像診断学についての授業を行う。
理学療法学	1	・病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を生かした理学療法に関する授業を行う。
医療経済学	1	・実務経験あり：担当者は医療施設・福祉施設において作業療法士・部門管理者としての実務経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
運動・応用生理学①	1	・実務経験あり：本講義は、医師ならびに理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。
運動・応用生理学②	1	・実務経験あり：本講義は、医師ならびに理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。
地域・医療連携論	1	・実務経験あり：病院や施設において理学療法士・作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
予防学 (予防の基礎：OT)	1	・実務経験あり：介護保険領域、保健領域で作業療法士として実務に従事した経験あり、その実務を活かして介護予防等の作業療法実践についての授業を行う。
作業療法管理学Ⅰ	1	・実務経験あり：担当者は病院・福祉施設において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして本授業を行う。
作業療法管理学Ⅱ	1	・実務経験あり：医療機関において作業療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
基礎ゼミナールⅢ (OT)	2	・実務経験あり：担当教員は身体障害領域、高齢者領域において、作業療法士としての臨床経験があり、その臨床経験を活かし、医療従事者としての基本的な対人関係スキルについて指導していく。
基礎ゼミナールⅣ (OT)	2	・実務経験あり：担当教員は身体障害領域、精神科領域において、作業療法士としての臨床経験があり、その臨床経験を活かし、医療従事者としてのコミュニケーション技術や体験実習で求められる技術を指導していく。
保健体育 (B)	2	・実務経験あり：主に小学校で教諭、管理職として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かした授業を行う。
医療英語Ⅰ (医学英単語) (C)	1	・実務経験あり：介護老人保健施設において支援相談員として、在宅介護支援センターにおいて社会福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、統計資料をもとに客観的視点を養うだけでなく、利用者のサービス満足度調査や地域アセスメントなど、調査分析の必要性とそれを実践する上で必要な基本的知識や技能、倫理についての授業を行う。
医療キャリアデザイン② (OT)	1	・実務経験あり：各担当者は医療施設・福祉施設等において作業療法士等としての実務経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
臨床心理学 (リ)	2	・職業リハビリテーション領域において30年間の実務経験と大学院時代からの生理心理学・認知神経科学の知見を紹介する。
基礎科学概論	2	・実務経験あり：病院において言語聴覚士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、保健・医療・福祉に必要な物理学の基礎知識についての授業を行う。
運動学 (OT)	1	・実務経験あり：担当教員はいずれも医療機関において身体機能分野の作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして運動学について授業を行う。
内科学・生活習慣病①	2	・実務経験あり：医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして内科学と生活習慣病についての授業を行う。
内科学・生活習慣病②	2	・実務経験あり：医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして内科学と生活習慣病についての授業を行う。
神経内科学①	1	・実務経験あり：医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経内科学についての授業を行う。
神経内科学②	1	・実務経験あり：医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経内科学についての授業を行う。
高次脳機能障害学演習 (PT・OT)	1	・作業療法士免許と臨床の実務経験を有する教員、言語聴覚士免許と臨床の実務経験を有する教員が、学修内容 (知識や技能) の臨床場面での活用や応用を含めて講義する。
救急医療	1	・実務経験あり：担当者は医療施設において医師として実務経験があり、その経験を活かして本授業を行う。
リハビリテーション医学 (旧カリ)	2	・医療機関におけるリハビリテーションの実務経験を有する教員が、臨床場面での知識の活用や実用的な訓練法を含めて講義する。

## 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧&lt;リハビリテーション学科作業療法学専攻&gt;

授業科目	単位数	実務経験を活かした当該授業科目への展開
作業遂行学Ⅰ（基礎）①	1	・実務経験あり：大学附属病院、身体障害者リハビリテーションセンター、訪問等において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、作業療法プロセスや作業療法の実践方法を具体的に網羅した授業を行う。
作業遂行学Ⅰ（基礎）②	1	・実務経験あり：大学附属病院、身体障害者リハビリテーションセンター、訪問等において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、作業療法プロセスや作業療法の実践方法を具体的に網羅した授業を行う。
リハビリテーション概論	2	・実務経験あり：病院、施設において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かしてリハビリテーション概論についての授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）③	2	・実務経験あり（由留木）：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
臨床作業運動学	1	・実務経験あり：医療機関において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
作業療法概論	1	・実務経験あり：医療機関において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
基礎作業学Ⅱ（治療的応用）	1	・実務経験あり：担当者は医療施設で作業療法士として実務経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
研究演習	1	・実務経験あり：作業療法士として臨床研究に取り組んだ経験があり、本講義ではそれらの研究を紹介しながら理解を深めていく。
作業療法評価学 総論	1	・幅広い年齢層の対象者に対する作業療法の実務経験があり、授業においてはその経験を活かして具体的な事例を通してイメージが持てるように授業展開を行なっていく。
身体機能作業療法評価学Ⅱ	1	・実務経験あり：担当教員は、急性期や回復期病院での実務経験があり、この経験をいかして実際の対象者に対して計画計画の立案から治療までのプロセスを指導する。
精神機能作業療法評価学	1	・実務経験あり：精神科病院において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして精神障害者に対する作業療法評価について授業を行う。
精神機能作業療法治療学	1	・実務経験あり：精神科病院において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、疾患別の特徴やその回復段階の特徴についての授業を行う。
身体機能作業療法学総論	1	・実務経験あり：医療機関において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
認知機能作業療法学	1	・実務経験あり：担当者は医療施設・福祉施設等で作業療法士として実務経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
高齢期作業療法学	1	・実務経験あり：高齢者福祉施設、介護保険領域で作業療法士として実務に従事した経験あり、その実務を活かして高齢期の特性、作業療法評価及び実践についての授業を行う。
発達過程作業療法学	1	・療育施設での実務経験があり、その経験を活かして具体的にイメージが持てるように授業展開をしていく。
精神機能作業療法総合演習Ⅰ（評価）	1	・実務経験あり：精神科病院において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして精神障害者のニーズに即した支援や地域での生きづらさについて考える授業を行う。
精神機能作業療法総合演習Ⅱ（治療）	1	・実務経験あり：精神科病院において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、疾患別の特徴やその回復段階の特徴についての授業を行う。
身体機能作業療法学各論Ⅰ（脳血管・運動器疾患）	1	・実務経験あり：担当教員はともに病院、訪問リハビリテーションなどで作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、身体機能作業療法学の実践、治療原理について授業を行う。
身体機能作業療法学各論Ⅱ（内部障害・がん他）	1	・身体障害領域の回復期病院、地域リハビリテーションでの実務経験を活かし、臨床における内部障害・がんの作業療法について教授する。
発達過程作業療法治療学	1	・療育施設での実務経験があり、その経験を活かして具体的にイメージが持てるように授業展開をしていく。
環境と作業療法	1	・実務経験あり：大学附属診療所、障害者支援施設、身体障害者リハビリテーションセンター等において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、物的環境に対する身体機能の変化について教授する。
地域作業療法学	2	・実務経験あり：作業療法士として障害者就労支援施設において業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして地域における支援の実践についての授業を行う。
高齢期地域生活支援論	1	・実務経験あり：介護保険領域、保健領域で作業療法士として実務に従事した経験あり、その実務を活かして地域包括ケアシステム等地域で高齢者を支援するサービスについて及び作業療法実践についての授業を行う。
生活環境整備論	1	・実務経験あり：大学附属診療所、障害者支援施設、身体障害者リハビリテーションセンター等において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、福祉用具と住宅改修の視点や生活行為向上マネジメントについて教授する。
職業リハビリテーション演習	1	・実務経験あり：自立生活訓練センター及び兵庫県立総合リハビリテーションセンターにおいて作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、リハビリテーション医療及び職業リハビリテーションの基礎、実践について授業を行う。

## 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧&lt;リハビリテーション学科作業療法学専攻&gt;

授業科目	単位数	実務経験を活かした当該授業科目への展開
身体機能作業療法総合演習Ⅰ（基礎）	1	・実務経験あり：担当教員は、急性期や回復期病院での実務経験があり、この経験をいかして実際の対象者に対して計画計画の立案から評価までのプロセスを指導する。
身体機能作業療法総合演習Ⅱ（評価）	1	・実務経験あり：担当教員は、急性期や回復期病院での実務経験があり、この経験をいかして実際の対象者に対して計画計画の立案から治療までのプロセスを指導する。
身体機能作業療法総合演習Ⅲ（治療）	1	・実務経験あり：担当教員は、急性期や回復期病院での実務経験があり、この経験をいかして実際の対象者に対して計画計画の立案から治療までのプロセスを指導する。
作業遂行学Ⅱ（評価）	1	・実務経験あり：大学附属病院、身体障害者リハビリテーションセンター、精神病院等において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、作業療法プロセスや作業療法の実践方法を具体的に網羅した授業を行う。
作業遂行学Ⅲ（治療）	1	・実務経験あり：大学附属病院、身体障害者リハビリテーションセンター、精神病院、訪問等において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、作業療法プロセスや作業療法の実践方法を具体的に網羅した授業を行います。
身体機能作業療法治療学	1	・実務経験あり：担当教員は、急性期や回復期病院での実務経験があり、この経験をいかして実際の対象者に対して計画計画の立案から治療までのプロセスを指導する。
作業運動学	1	・実務経験あり：担当教員は、いずれも医療機関において、身体機能分野の作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
解剖学演習①（PT・OT）	2	・実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
解剖学演習②（PT・OT）	2	・実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）①	2	・実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）②	2	・実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
義肢装具学（OT）	2	・実務経験あり：担当者は医療施設・福祉施設等で作業療法士として勤務した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
基礎作業学Ⅰ（基礎と作業分析）	2	・実務経験あり：各教員が、高齢者福祉施設、介護保険領域、身体機能領域病院にて作業療法士として実務に従事した経験あり、その実務を活かして作業及び活動の分析及び実践方法についての授業を行う。
身体機能作業療法評価学Ⅰ（検査測定演習・実習）	2	・実務経験あり：担当者は医療施設・福祉施設等で作業療法士として勤務した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
	87	